



ネイチャーぼうけん&防災キャンプ(九州エリア)2022年度実施報告

◆実施概要

| | |
|---------|---------------------------------------|
| キャンプテーマ | なつのおみのぼうけん |
| 日程 | 2022年8月6日(土)~7日(日) |
| 会場 | 香々地青少年の家 〒872-1202 大分県豊後高田市香々地5151 |
| 参加者合計 | 21名 |
| (内訳)こども | 12名(内被災世帯1名) |
| スタッフ | 2名 |
| ボランティア | 6名(エジプト・ミャンマー) |
| バス運転手 | 1名 |

◆プログラム詳細

SUPIにのろう



ボードの上に立ち、パドルで進んでいくSUP。はじめに、ライフジャケットのつけ方やパドルの使い方を学習してから、海へ向かいます。雲ひとつない青空の下、こどもたちはボードに座って慎重にスタート。慣れてくると立ち上がり、パドルを上手に使いこなして動き回っていました。なかには自分から海に落ちて、はしゃぐ子も。風が強く吹いた時には「風でどこまで流される?」「どの風向きなら前進しやすい?」など、それぞれに試行錯誤。波と風について理解を深めていました。

プラネリウム&花火



プラネタリウムでは、夏に見える星について施設の方が解説。さらに、海上で遭難した場合を想定して、星の見え方から方角をとらえる方法を学びました。プラネタリウムを出た後も、夜空を見上げて一生懸命星を探す子どもたち。
この日は自然の中で花火も楽しみました。

ロープワーク(うみのレスキュー)



1本のペットボトルとロープを使い、溺れている人を助けるためのレスキューロープを作りました。ワークシートを見ながら、お互いに教え合って完成させます。その後、ボランティアスタッフが溺れている人の役をし、どのようにロープを投げれば届くのか試行錯誤。ボトルに少量の水を入れ、下から投げると相手に届く確率がグンと上がることが分かりました。また、溺れている人を引き上げるとき「1人だと危ない！一緒にやろう！」と、学びを活かしチームワークが生まれていました。

国際交流



最後にボランティアスタッフが自分たちの国について紹介。エジプト出身のボランティアスタッフは、折り紙を使ったカラフルなピラミッドの作り方を教えてくれました。みんなと一緒に作りながら、エジプトの歴史や文化についても学びます。初めて聞く世界の話に子どもたちも興味津々。またミャンマー出身のボランティアスタッフは、自国のあいさつや民族衣装について、絵や写真を見せながら教えてくれました。「帰ったら家族に教えたい！」と一生懸命メモをとる子どもたちの姿が印象的でした。

